

身延山大学仏教学部の平成一九年一〇月一日から平成二〇年九月三十一日までの活動の一端を紹介します。

○教員消息

▽望月海慧准教授は平成二〇年四月一日をもって教授に昇格しました。

▽小川純助教は平成二〇年四月一日をもって講師に昇格しました。

○海外出張

▽寺尾英智教授が平成二〇年二月三日から二八日の日程で、アメリカで開催された北米開教区教師研修会で講演を行いました。

▽福土慈稔教授が平成二〇年三月一六日から三月二六日にかけて、韓国・円光大学などで科研費研究課題遂行のための資料収集を行いました。

▽池上要請教授と柳本伊左雄教授が平成二〇年三月二五日から三月二八日にかけて、ラオス国情報文化省工芸局との打ち合わせ会議出席のためラオスに行きました。

▽寺尾英智教授・長澤市郎教授・福土慈稔教授・望月海慧教授・三輪是法准教授が平成二〇年五月一七・一八日に韓国・東国大学校で開催された韓国仏教学会結集大会第四次学術大会に参加し発表を行いました。

▽池上要請教授が平成二〇年六月三日から六月七日にかけて、法華経講義のためにカンボジア国プノンペンに行きました。

▽望月海慧教授が平成二〇年六月二三日から六月二九日の日程で、アメリカ・エモリー大学で開催された第一五回国際仏教学会学術大会に参加し発表を行いました。

▽高橋一公准教授が平成二〇年七月一九日から七月三〇日の日程で、ドイツ・ベルリンで開催された第二九回国際心理学会議に参加し発表を行いました。

○教員出版物

▽望月真澄教授『身延山を歩く』ブリカ、平成二〇年九月

○教員論文等

▽池上要靖教授「延山流声明墨譜歌唱法」（坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林）

▽寺尾英智教授「行学院日朝の活動―身延入山以前を中心に―」（『印度学仏教学研究』五六―一）、「行学院日朝と身延山久遠寺―住持の隠居と継職をめくって―」（坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林）、「行学院日朝の活動について」（『宗教研究』八一―四）

▽福土慈稔教授「十二世紀末までの日本各宗に於ける朝鮮仏教の影響について」（『身延山大学仏教学部紀要』八）、「日本仏教にみられる朝鮮仏教の影響―十三世紀から江戸末期までの目録類を中心として―」（坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林）、「日本法相宗諸目録及び章疏にみられる新羅仏教認識」（『宗教研究』八一―四）、「目録類からみる日本に於ける朝鮮仏教の影響と問題点」（『印度学仏教学研究』五六―二）

▽間宮啓王教授「「こころみ」の軌跡―日蓮の歩み（佐渡流罪以前）―」（『身延山大学仏教学部紀要』八）、「日蓮における救済の構造（増補改訂）―即身成仏と靈山往詣―」（坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林）、「日蓮における地涌・上行自覚の再検討」（『日蓮仏教研究』二）、「日蓮における地涌・上行自覚の再検討」（『宗教研究』八一―四）

▽望月海慧教授「Doi po pa の二諦説理解について（Ⅱ）」（『身延山大学仏教学部紀要』八）、「ティーパンカラシユリージュニヤーナに帰される『金剛座金剛歌』について」（坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林）、「Doi po pa は Dhammathāstava をどのように読んだのか」（『印度学仏教学研究』五六―二）、「華嚴経」「阿僧祇品」「入法界品」に説かれる算法について」（『宗教研究』八一―四）

▽望月真澄教授「近世後期渡辺家の法華信仰―東海道蒲原宿渡辺金球の日記を中心に―」（坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林）、「近世の身延山と江戸信徒」（『宗教研究』八一―四）、「近世名主の身延山信仰―東海道蒲原宿渡辺家の事例―」（『印度学仏教学研究』五六―二）

▽山田英美教授「娘・母関係の物語(三)」(『身延山大学仏教学部紀要』八)

▽高橋一公准教授「大学生の一般的老人イメージと将来の自己老人イメージ―老人観スケールを用いた分析―」(『身延山大学仏教学部紀要』八)

▽三輪是法准教授「近代日本における日蓮仏教の受容―戸田城聖の場合―」(坂輪宣敬博士古稀記念論文集『仏教文化の諸相』山喜房仏書林)、「テクノポー・二荊・愚禿・風狂・大愚」(『福神』一二)

▽伊東久実講師「山梨における文庫活動―浅川玲子と一坪図書館―」(『身延山大学東洋文化研究所所報』一二)

▽小川純講師「動作解析ソフトウェアを活用した介護・看護・リハビリ分野に共通する動作の分析」(『山梨県立大学地域研究交流センター』二〇〇七年度研究報告書)、「動作解析ソフトウェアを活用した介護・看護・リハビリ分野に共通する動作の分析―介護分野に焦点をあてて―」(『身延山大学東洋文化研究所所報』一二)

○平成一九年度仏教学科卒業論文論題及び指導教員

阿部是眞 「宮沢賢治と仏教」

岩崎智慎 「日蓮聖人と法華經守護の諸尊―大曼荼羅御本尊に座し給える諸尊について」

大宮泰幸 「七面山霊場の成立」

川端智英 「日蓮宗における三十番神信仰について」

久保田健一 「日本仏教各宗の思想と変遷―比叡山で学んだ開祖たちについて―」

齊藤大乘 「七面山の参詣道について」

佐々木麻衣 「カンボジアにおける仏教の存在意義」

品田祥禎 「初転法輪に関する一考察」

鈴木寛長 「鎌倉幕府と日蓮聖人」

高橋卓希 「イエスの生涯と思想」

宇野德行 「鬼子母神信仰について」

三輪是法

桑名貫正

望月真澄

望月真澄

富士慈稔

望月真澄

望月海慧

池上要靖

望月真澄

問宮啓壬

望月真澄

- 月崎了照 「上総国における日蓮教団の展開」
- 中尾潮武 「仏教教育の変遷」
- 仲澤宗記 「宮沢賢治の法華信仰について」
- 永田壽生 「重・乾・遠の三師と身延山」
- 堀内本康 「日蓮聖人の法華経の行者自覚―開目抄を中心に―」
- 前田寛太郎 「加藤清正公像とその周辺」
- 村口泰淳 「身延山と七面山の関わりについて」
- 山田基弘 「日向門流の展開」
- 太田慶修 「ミリンタ王の問い―文化交流の視点から―」
- 木名瀬議子 「日興上人と富士門流」
- 浦野弘正 「『観心本尊抄』の注釈史の研究―興門を中心に―」
- 小川鳳章 「江戸時代における女性の法華信仰」
- 藤井智孝 「日蓮聖人龍口法難について」
- 藤丸隼人 「稲荷信仰について」
- 中込 徹 「バガヴァットギーターに関する一考察」
- 古郡慎太郎 「中山みきの生涯と思想」
- 望月義孔 「日蓮聖人像」

- 望月真澄
- 望月真澄
- 桑名貫正
- 望月真澄
- 間宮啓壬
- 柳本伊左雄
- 望月真澄
- 寺尾英智
- 池上要靖
- 望月真澄
- 三輪是法
- 寺尾英智
- 寺尾英智
- 寺尾英智
- 池上要靖
- 間宮啓壬
- 柳本伊左雄